

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 一絨毛膜二羊膜(MD)双胎妊娠における胎児心拍モニタリング所見と双胎間輸血症候群(TTTS)の発症との関連に関する検討

[研究機関] 北海道大学病院（病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 講師・病棟医長）

[研究の目的] MD 双胎妊娠の妊婦さんの胎児心拍モニタリングでの異常所見から TTTS の発症を予知できるかどうかを明らかにし、今後の医療に役立てる事が目的です。また、二絨毛膜二羊膜(DD)双胎妊娠の妊婦さんとの比較も同時に行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 22 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に北海道大学病院産科・周産母子センターで分娩された MD 双胎妊娠の妊婦さんならびに DD 双胎妊娠の妊婦さん

●利用するカルテ情報

○胎児心拍モニタリング所見

○TTTSの発症の有無、TTTSの発症時期、TTTSの進行期

○母体所見：母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、妊娠期間中の母体体重の推移、分娩前母体体重、TTTSによる合併症（肺水腫、Mirror症候群、常位胎盤早期剥離の有無）、妊娠偶発合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など）の有無

○新生児所見：胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死の有無、新生児の胎児TTTS所見の有無

○胎盤肉眼的ならびに病理学的所見：胎盤血管吻合の有無、膜性診断

○血液学的検査所見、尿検査所見、血圧

○合併症に対する治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局) FAX 011-706-6932